
FSWの可能性と 制限性について

発表する人:

寿明飛鳥(思索の枝葉FSW宣言者)

発表内容目次

- FSWとは何か
 - FSWを通じての一次創作と二次創作の関係
 - なぜFSWか
 - FSWに厳密な設定は必要か
 - FSW宣言したくなったら
 - FSWを使用したくなったら
-

FSWとは何か(1)

- FSWの定義

共有可能である世界観、設定のこと

フリーシェアワールドと読みます

似たようなものにシェアワールドがありますが
少し違います

フリーシェアワールド・・・みんな勝手に使える

シェアワールド・・・勝手に使えない

FSWとは何か(2)

- 何か分野の中にもFSW宣言をしている作品はいくつかあります
人体視願/ヴィイさんや、ロッシュの限界さんなど中には、設定に名前をつけてFSW宣言をしているところもあります。

時間の都合上、すべてのお名前はあげられませんが...

FSWとは何か(3)

■ FSWの種類

FSWにもいろいろな種類があります

- 1.参加者が決まっている状態でどうするか話し合う
- 2.みんなです話し合って世界観を決める
- 3.最低限の決まりを作ってみんな好き勝手にする
- 4.決まりなどは作らずみんな自由にしていよ

フリーといわれても、規約は存在します

一次創作と二次創作の関係

- FSWなんかなくても勝手にやればいいじゃない
二次創作のフィールドで作品を作る
二次創作は一次創作になれない
→対象の作品があってはじめて作品のアイデンティティが発生する

対象作品が公開終了になると・・・？

一次創作と二次創作の関係(2)

- FSW宣言していない作品をFSW的に扱っているとトラブル発生の元になる
作品を見る人の立場からすると、混乱する
どっちが本家かわからない
- ・双方の作者が納得し、設定を使わせてもらっていると明記した場合は別ですが・・・

一次創作と二次創作の関係(3)

■ FSWと二次創作

FSWを使った作品は二次創作ではない
一次創作の作品として独立する

・先行作品の影響をいかにして良い方向に生かす
か課題

同じFSWに参加している作品は、すべて対等

なぜFSWか(1)

- FSW宣言することのメリット
 - 個人では表現できない大きな世界を作ることができる
 - いろいろな人の参加で世界が発展していく
 - ほかの作品を擁することで世界に深みが出る
 - 設定を公開することにより、いろいろな人にアピールできる

なぜFSWか(2)

- FSW宣言することのデメリット
 - ・設定の一人歩きに振り回される可能性
 - ・参加者の間で作品が衝突してトラブルになる可能性
 - ・FSW宣言した設定の著作権の問題
 - ・同FSW使用作品であるということのレッテル化

FSWに厳密な設定は必要か

■ 細かい設定は必要？

細かく設定する

→参加者の創作の余地がなくなってしまう

何も設定しない

→FSWの意味がない

難解な設定になればなるほど

参加者は設定を全て理解するのに苦労します

FSW宣言したくなったら(1)

- どこからどこを共有可能にするか
作品の全部をFSW宣言してしまうと
触られたくない設定を触られてしまう可能性
これを避けるためには・・・
 - ・利用規約を設ける
 - ・あらかじめFSW宣言する部分を決めておく
-

FSW宣言したくなったら(2)

- トラブルの少ないFSW宣言をするために
キャラクター本位の設定を共有するのではなく
世界を共有するようにする

たとえば・・・

キャラクターの住む町や、通う学校

共有する世界が大きければ大きいほど

参加者と参加者が衝突することも少なくなる

FSWを使用したくなったら

- 利用規約を守ろう
 - ほかの参加作品を尊重する気持ちを忘れずに
 - わからないことは宣言者に聞いてみよう
-